

SAT通信 創刊号NO1

教職支援センター「より良いSAT活動研究会」発行 2023/06/30

今年もSAT活動が始まりました。都留市・西桂町の小学校八校と、市内三中学校にお世話になっていきます。A〜Cタイプまで、全部で二五〇名近くの学生が活動に参加し早一ヶ月が過ぎました。この間、学生はたくさん学びを重ねています。

学生の活動を認める、学校の声(気づき)を伝えていただきました
ある学校の先生から、次のような学生の活動を教えてもらいました。

朝から「何か手伝うことはありませんか」と学生自ら声をかけてきてくれたので、ドリルの〇付けをお願いした。窓際で〇付けをしていたのだが、そこに飾られている鉢植えの花が気になるようだった。少しすると、その花の枯れた葉を取り除いていた。またその後(休み時間)には、近くの子に「一週間に一度でいいのでお水をやったり、枯れた葉を取り除いてやったりするのいいよ」と伝えていた。
それを見ていた先生が、学生に「花が好きなの？好きになったきっかけは？」と聞くと「祖父が生き物が好きで、小さい頃から祖父について一緒に活動していたら好きになっていた。」そうだ。
SATは学習支援に来ているが、好き



なことや大切なことを伝えてくれる学生も素敵で感動したとのことでした

気づいた事がありましたら、これからも是非教えて下さい。学生の励みにもつながります



授業中の学習支援(SAT=B・C)

「より良いSAT活動研究会」

市内小学校教諭四名と教職支援センター教員とによる研究会がスタートしました。会の略称は「よSSA研」です。研究や学生の相談・指導などがメインです。研究協力員は以下の先生方です。

- 谷一小 河野佑太朗先生
- 谷二小 宮澤 真琳先生
- 東桂小 雨宮 知宏先生
- 宝小 北浦 貴之先生



学生よりメールが届きました 行動を何気なく褒めた。→ 嬉しい顔 → 気づき、喜びを感じた！

前回の活動時(数学の時間に問題を解いている時)他の子に教える姿を見受けました。今回、「〇〇さん勉強得意なんだね」と何気なく声をかけたら、苦手な子が分からない問題が分かった時や褒められた時と同じくらい、すごく嬉しそうな顔をしたのがとても印象的でした。

勉強が得意で当たり前のようにできている子でも、「褒めるとこんなに喜んでくれるんだ」「その子の学力にかかわらずどんな子でも褒められるのは、思っていた以上に生徒たちにとって嬉しいことなんだ」と、その時の様子を見て分かりました。

そのことに気づけて、私の方がすごく嬉しくて、誰かに聞いてほしくて、教職支援センターにメールしました。(6/16)

- ◎気づけたことが嬉しい・・・素晴らしいですね
- ◎前回の活動がつながっていたのですね！！



放課後の学習支援(SAT=A)

今後この通信でも活動を紹介します。